

授業科目名	マネジメントキャリア英語	担当教員	山中 俊之
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年第1クォーター		
講義内容	ビジネスの現場、マネジメントで通用する英語力について演習を通じて、押さえるべきことを繰り返し練習する。特に注力するのは、英語での会話・対話、プレゼンテーションと読解である。授業はすべて英語で行う。英語は各人の能力の違いが大きいことから、個別に進捗状況を把握して助言・コーチングを行っていく。将来のキャリア形成にも役立つ内容とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場、マネジメントで使う英語のレベルや注意点について理解しており、基礎的なことについては実践できる。 ・英語でのプレゼンテーションについて自信をもって実践できる。 ・DX（デジタルトランスフォーメーション）やダイバーシティなど世界のビジネスの最先端で用いられている用語について理解する。 ・世界情勢について英語で自分の意見が言える。 ・英語の語彙数を大学受験時よりも大幅に増やして、日本発行の英字新聞が概ね理解できる。 ・就職に向けて必要となる試験についての合格や一定点数以上を取ることができる。 ・ビジネスの現場やマネジメントについての基本事項の知識習得や会話を実感できることで将来のキャリア形成に役立つ。 		
授業計画	<p>第1回：ビジネスの現場に必要な英語のレベルとは、自らの英語力を分析して対応策を立てる</p> <p>第2回：マネジメント会話の練習（自己紹介）</p> <p>第3回：マネジメント会話の練習（マネジメント用語とは）</p> <p>第4回：マネジメント会話の練習（DX）</p> <p>第5回：マネジメント会話の練習（ダイバーシティ）</p> <p>第6回：マネジメント会話の練習（顧客に新しい提案）</p> <p>第7回：マネジメント会話の練習（部下の目標設定の会話）</p> <p>第8回：マネジメント会話の練習（部下のモチベーション向上）</p> <p>第9回：マネジメント会話の練習（マーケティング用語）</p> <p>第10回：マネジメント会話の練習（経営戦略用語を使う）</p> <p>第11回：プレゼンテーションの練習（マネジメントとしてのテーマの選定）</p> <p>第12回：プレゼンテーションの練習（自らのマネジメント目標を語る）。</p> <p>（注）上記は毎回の主たるテーマであり、その他に読解教材の読み込、個別コーチングを行います。また、学生の皆さんの関心やレベルによって、内容変更があります。</p>		
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、世界情勢、ビジネスについて英語で情報を収集してもらい共有します。 		
テキスト	特になし		
参考文献	必要に応じて配布。		

成績評価の基準	レポート (50%)、積極性 (=授業中の発言、質問など) (50%)
履修上の注意 履修要件	なし
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	なし